

早期景気観測調査

【4-5月期 調査結果概要報告書】

平成28年7月



甲府商工会議所

◆調査要領

1. 調査の目的： 山梨県内で最も速報性の高い『街角の景況感』を把握する調査として中小企業の明日の経営活動に資する。
2. 調査実施機関： 甲府商工会議所
3. 調査実施時期： 平成28年6月7日(火)～16日(木)
4. 調査対象： 当所会員 153事業所
5. 調査方法： ファクシミリによるアンケート方式
6. 有効回答数： 109
7. 有効回答率： 71.2%
8. 特記事項： 原則、小数点以下第2位で四捨五入

◆結果概要

【4・5月期の動き】

**業種によって業況の推移にはバラつきが見られるが、全体としてはほぼ横ばいの動き。
業況の先行きは改善を見通す。**

4－5月期の全業種総合の業況DIは▲29.1（前期比▲0.3ポイント）と、前期からほぼ横ばいの動き。項目別では従業員DIを除く各項目で前期から悪化となった。売上DI・採算DIの悪化幅はそれほど大きくはないが、それぞれ6期・4期連続と長期的に悪化が継続している。また、全業種総合の業況はほぼ横ばいの結果となったものの、5業種別の業況推移では比較的大きく変化している業種が多い。

向こう3ヶ月の業況は改善を見通している。

業種別では卸売業・建設業・小売業で業況改善。製造業・サービス業で業況悪化となった。

卸売業の業況DIは▲5.3（前期比+16.9ポイント）と、4期ぶりに業況改善となった。売上、採算、仕入単価の各DI値も改善となったが、従業員DIは16.7→26.3と人手不足感が強くなった。

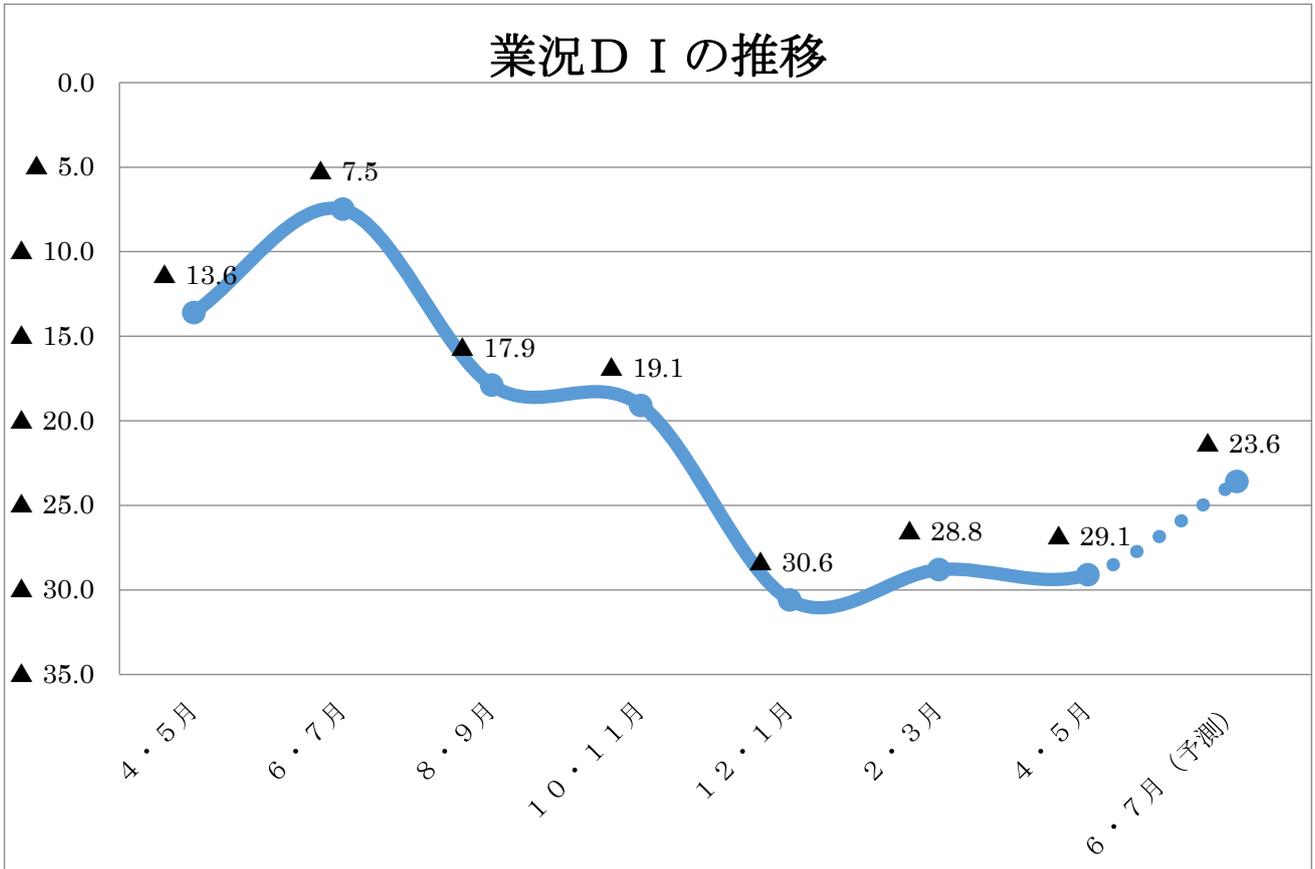
建設業は業況DI▲31.6（前期比+21.7ポイント）で4期ぶりに業況改善となった。各DIとも動きは小幅ながら、売上DIは3期連続の悪化となり、▲63.2（前期比▲3.2ポイント）と非常に低い水準。従業員DIは26.7→15.8と人手不足感が弱まった。

小売業は業況DI▲34.6（前期比+29.4ポイント）で3期ぶりに改善に転じた。業況DIは5業種の中でも未だに低い水準にあるが、前期比+29.4ポイントと大幅な改善となった。項目別では売上・採算・仕入単価の各項目とも前期より改善となっている。

製造業では、業況DIが▲25.9（前期比▲8.7ポイント）と3期連続の悪化となった。項目別でも全てのDI値が悪化しており、売上DIは3期連続、採算・仕入単価DIは2期連続の悪化となった。

サービス業は業況DI▲50.0（前期比▲55.6ポイント）と大幅な悪化に転じた。仕入単価DI、従業員DIは前期から横ばいとなるものの、売上、採算の2項目は前期から大幅に悪化となっている。

業況D I の推移



◆全業種・業種別詳細

※ D I 値 (景況判断指数) について

D I 値は、売上・採算・業況などの各項目についての、判断の状況を表す。ゼロを基準として、プラスの値で景気の上向き傾向を表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。従って、売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がりを意味する。

◆指標の見方

前回D I に比べて (先行は今回実績値に比べて)		
改善	不変	悪化
		
D I 値	D I 値	D I 値

※仕入単価D I は、仕入単価が下落した場合、「↗」 (改善) と表示しております。
 従業員D I は、従業員が不足している場合、「↗」 (改善) と表示しております。

◆全業種総合

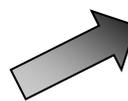
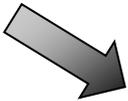
業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						
▲ 29. 1	▲ 23. 6	▲ 41. 8	▲ 32. 7	▲ 19. 1	14. 5	0. 9

4－5月期の全業種総合の業況D I は、▲ 29. 1 (前期比▲ 0. 3ポイント) と、ほぼ横ばいの推移。
 項目別では従業員D I を除いて前期から悪化となっており。中でも売上D I は▲ 41. 8 (前期比▲ 1. 3ポイント) と6期連続、採算D I も▲ 32. 7 (前期比▲ 4. 8ポイント) と4期連続で悪化しており、いずれも極めて低い水準を推移している。

向こう3ヶ月の業況先行きは▲ 23. 6と改善の見通し。

◆ 業種別

製造業

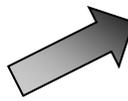
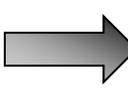
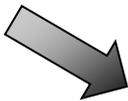
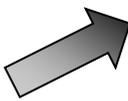
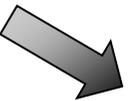
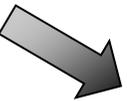
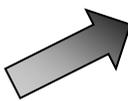
業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						
▲25.9	▲14.8	▲29.6	▲14.8	▲11.1	7.4	3.7

業況DIは、▲25.9（前期比▲8.7ポイント）で、3期連続の悪化となった。

今期は全ての項目で前期から悪化となり、売上DI（▲27.6→▲29.6）は3期連続、採算DI（▲13.8→▲14.8）は2期連続の悪化となった。一時は改善傾向が見られた仕入単価DIも▲3.4→▲11.1と悪化傾向が見られる。

向こう3ヶ月の業況は▲14.8と改善の見通し。

建設業

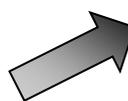
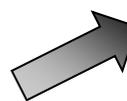
業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						
▲31.6	▲31.6	▲63.2	▲36.8	▲21.1	15.8	10.5

業況DIは▲31.6（前期比+21.7ポイント）と大幅に改善し、4期ぶりの改善に転じた。

項目別では採算（▲40.0→▲36.8）・金融貸出し（6.7→10.5）の2項目で改善が見られた。悪化となった項目は売上DIが▲60.0→▲63.2で3期連続、仕入単価DIは▲20.0→▲21.1で2期連続の悪化となったが、悪化幅は小幅に留まっている。従業員DIは26.7→15.8と従業員の不足感は弱まっている。

向こう3ヶ月の業況は▲31.6と横ばいの見通し。

卸売業

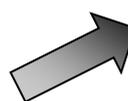
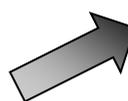
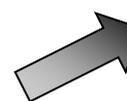
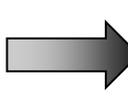
業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						
▲5.3	▲10.5	▲31.6	▲21.1	▲5.3	26.3	0.0

業況DIは▲5.3（前期比+16.9ポイント）と5期ぶりに改善に転じた。

今期は金融貸出しを除く全ての項目が前期より改善となったが、従業員DIについては16.7→26.3と人手不足感が強まっている。売上DIは▲50.0→▲31.6と4期ぶりに改善するも、同業種では未だに低い水準にある。採算DIは▲38.9→▲21.1、仕入単価DIは▲11.1→▲5.3とそれぞれ2期ぶりに改善に転じた。

向こう3ヶ月の業況については▲10.5と悪化を見通している。

小売業

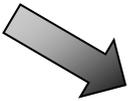
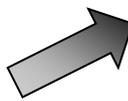
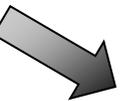
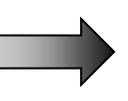
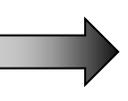
業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						
▲34.6	▲50.0	▲42.3	▲46.2	▲30.8	11.5	0.0

業況DIは▲34.6（前期比+29.4ポイント）と、3期ぶりに改善に転じた。

卸売業同様、今期は金融貸出しを除く全ての項目が前期より改善となった。中でも売上DIは▲42.3（前期比+29.7ポイント）、採算DIは▲46.2（前期比+13.8ポイント）と、それぞれ大幅に改善している。仕入単価DIは▲36.0→▲30.8と、4期連続で改善となった。

向こう3ヶ月の業況は▲50.0と悪化を見通す。

サービス業

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						
▲50.0	▲5.6	▲50.0	▲50.0	▲27.8	16.7	0.0

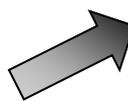
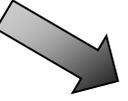
業況DIは▲50.0（前期比▲56.6ポイント）と大幅に悪化した。

今期のDI値が改善となったのは金融貸出しDI（▲5.6→0.0）のみであった。一方、悪化となったのは売上・採算の2項目で、売上DIは▲5.6→▲50.0、採算DIは5.6→▲50.0と、それぞれ著しい悪化となった。また、仕入単価DIは前期から横ばいの動きとなり、改善傾向に一服感が伺える。従業員DIも16.7と前期から変わらず、人手不足の傾向が続く。

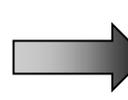
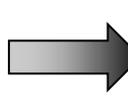
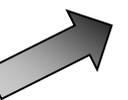
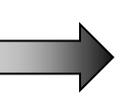
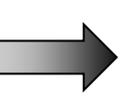
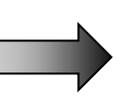
向こう3ヶ月の業況は▲5.6と改善を見通している。

◆ 業種別詳細

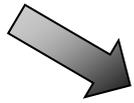
製造業（食品）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

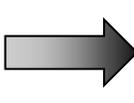
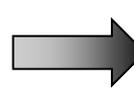
製造業（家具）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

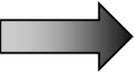
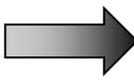
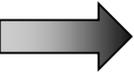
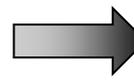
製造業（工業製品）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

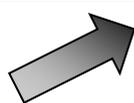
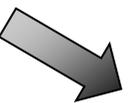
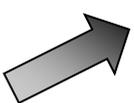
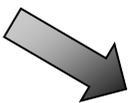
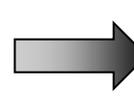
製造業（宝飾）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

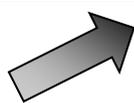
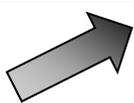
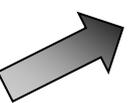
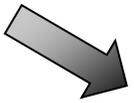
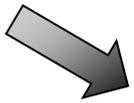
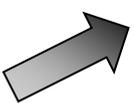
製造業（繊維）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

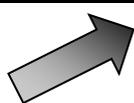
建設業（建築）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

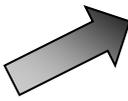
建設業（土木）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

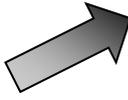
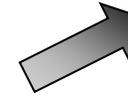
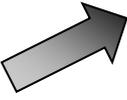
建設業（鉄鋼）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

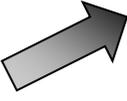
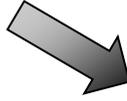
卸売業（食品）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

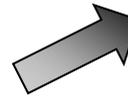
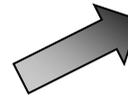
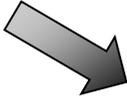
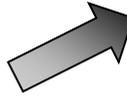
卸売業（繊維）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

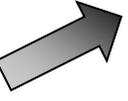
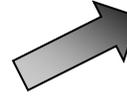
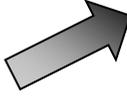
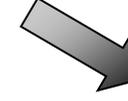
卸売業（その他）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

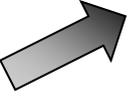
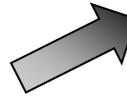
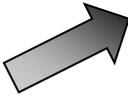
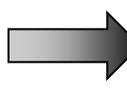
小売業（大型店）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

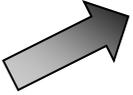
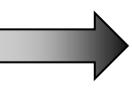
小売業（食料品）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

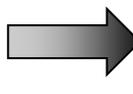
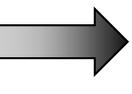
小売業（事務用品）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

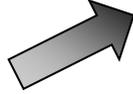
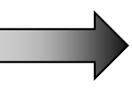
小売業（趣味・日用品）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

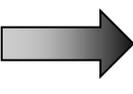
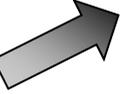
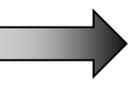
小売業（家電）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

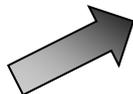
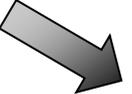
サービス（ホテル・旅館）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

サービス業（観光）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

サービス業（飲食その他）

業況	業況(先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

➤ 中小企業の声（現状や直面してる課題）

【製造業】

製造業（食品）

- ・今期は引き続きもち麦が好調。売上、利益ともに貢献している。
- ・昨年比 17%UP と順調だが、夏季のホテル・ブライダル需要とサマーギフトの動向が選挙などでどう変わるか注視していく。
- ・山梨への観光バスの減少が続いており、昨年に続き売店売上高は減少している。特定銘柄酒の売上は順調に伸びており、わずかではあるが来季への期待有り。

製造業（家具）

- ・当面は現状維持となるが、現在の日本経済環境の下、将来を予測するなど到底無理だ。アベノミクスは失敗し、経済は下降すると見ておい方が無難だろう。

製造業（工業製品）

- ・直近はスマートフォン向けの売上は減速しているが、7月以降は新機種向けに部材の取入が始まり、回復する見込みとなっている。

製造業（宝飾）

- ・ジュエリー市場はより厳しさを増している。6月は香港での展示会もあり、その動向も注視される。
- ・ジュエリー業界においても、個人消費は実質所得の低下などにより、依然として厳しい状況が続いている。

【卸売業】

卸売業（その他）

- ・円高による利益アップ。

【小売業】

小売業（事務用品）

- ・当社は官公庁との取引が大部分を占めている。週刊誌などでは役人だけが幸せな国と言われているが、その通りだと思う。

小売業（趣味・日用品）

- ・非常に悪い。銀座ビルの工事の影響があるのだろうか。

小売業（大型店）

- ・ファッション業界は激しい気温の変化によってお客様の購買意欲が低下気味であった。熊本地震の影響で無駄買いをしなくなった。

【サービス業】

サービス業（ホテル、旅館）

- ・信玄公祭り、5月の連休等、いずれも国内からの観光客が多かった。昨年の4、5月の利用客の方が本年より多かった。5月の連休後は更に客足減。向こう3ヶ月は夏になり、利用客が増えることに期待したい。

サービス業（観光）

- ・今年に入ってから観光バスを利用した観光客が少なくなっている。
- ・前2-3月期に比べ4-5月期は軽油値上がり傾向にあり、この動向を注視している。

【建設業】

建設業（建築）

- ・公共工事については前年同様発注量が少ない状況であり、上半期80%超の発注を予定しているとのことであるが、下半期に補正予算（大型）を編成し、発注につなげなければ地方建設産業は倒産、廃業が激増すると考える。
- ・建設投資が小規模で当社のように住宅関係を主としていない専門工事会社にとっては売上減少が顕著だ。

建設業（土木）

- ・公共事業がない。

建設業（鉄鋼）

- ・県内公共工事については波があり、今年は発注量が多い年である。原材料については殆ど変化なし。

